

落合 弘 Hiroshi OCHIAI

●1946年2月28日、埼玉県生まれ

16シーズン、260試合連続出場という大記録を打ち立てたJSL時代の「鉄人」。

強豪浦和市立高校では、全国高校選手権で活躍し2年連続の優秀選手に選出される。1963～65年まで3年連続日本ユース代表としてアジアユース大会に出場し、13試合で5得点を挙げた。ミドルシュートとヘディングシュートを武器とする攻撃的MFとして期待を集め、1966年にはヨーロッパ遠征で日本代表デビューを果たす。DFに転身後は、攻撃力だけでなくカバーリング、1対1の強さを発揮し、サイドバック、センターバック、守備的MFなどのポジションをこなすことのできる選手として活躍した。

モントリオールオリンピック予選、FIFAワールドカップアルゼンチン大会予選、モスクワオリンピック予選などに出場し、1980年まで日本代表として126(Aマッチ63)試合出場、17(Aマッチ9)得点。

JSL(三菱重工)では267試合出場(歴代2位)、56得点(1966～84年)。1969年度JSL1部で初優勝し、得点王に輝く。JSL1部優勝4回、天皇杯全日本選手権優勝4回、JSL年間優秀11人賞10回受賞。1978年度には、JSL1部、JSLカップ、天皇杯の三冠を獲得し、自身も年間最優秀選手賞を受賞した。

日本代表の厳しい時代が続くなかで先頭に立って戦い、同時に所属の三菱も数々のタイトルに導くなど大きな足跡を残した。

1988～92年日本代表コーチ、1992～93年浦和レッズコーチ。
2003年より浦和レッズハートフルクラブキャプテンをつとめる。



© studio aupa



1976年 日本代表対イスラエル戦
(モントリオールオリンピック予選)

© studio aupa



三菱重工では、主将として天皇杯優勝2回